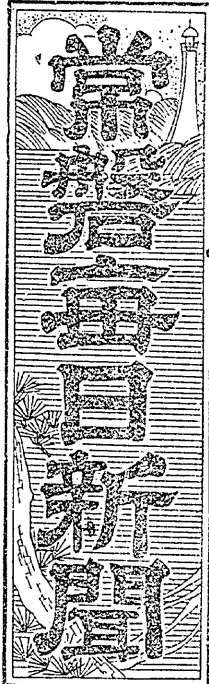


日八十二月一



刊日
定額一冊金五錢 一ヶ月金五拾錢 郵費五錢
廣告料五錢 十二字第一行金五拾錢
日曜祭日の翌日休刊
發行所 常盤警報社 每日新聞社
電話 六二〇〇
印刷所 常盤警報社 印刷株式會社

佛教音樂

眞繼 雲山

無信の人々に取りては、木魚も、鉦も、ハモニカ程の用をなさないけれど、既に宗教の門に入つたものに取つては、三千年の歴史を経て来た宗教音樂こそは天地宇宙の無限の眞韻を、その一々の響きによつて、私たちの眼前に展開してくるものである、それは鉦や太鼓に意味があるわけではなく、その持つ歴史的、宗教的意味を、私自身の體驗として獲得するのである。それゆゑ、當人の體驗と先方の音樂とが歴史的に一致しない場合には宗教は生れない、たとへば日蓮信者が木魚を叩いて見ても、お題目は中和されてその意義を減するであらうし、反對に浄土門徒が團扇太鼓でドンドン／＼の拍子を取つて念佛を稱へて見ても、そこに浄土は現前しない、これは宗教とは理窟ではなく體驗だからである。この故にチリン／＼といふ鉦の響きに即身は佛の一境ありカチリといふ拍子木の音に豁然大悟の小眼は開けるドンドン／＼といふ團扇太鼓に勇氣づけられるところに、法華經色讀の信仰は芽生える、ボク／＼／＼

といふ静寂そのものである木魚の一聲毎に寂滅爲樂の浄土は眼前する、餘韻盡きせぬ御詠歌の韻誦によつて觀音の大悲に投じ得るのである、いかな管長様の百日の名説教といへども宇宙の眞韻を宗教として獲得するの體驗には叶はん、是れ宗教の迷情を掃ふたところを言ふのである。單凡學問としてならば、科は基督教を知ることが出来る、天理教を知ることが出来る、金光教を知ることが出来るであらう、左れどそれを宗教とて受け取ることはそれ／＼の傳統に育つてした體驗者の特權である、私には王仁三郎を拜來む氣にはなれずおみき婆さんを信心する氣にはなれず、エスキリストを尊敬する、けれどアメンといふて救はれた氣もちには成れない、私を救ふてくれるものは矢はり佛様である、それは私が佛様に救はるべき精神的、體質の所有者だからである、こゝに精神的體質とは宿因を意味したのであり、宿因あるもの宿善開發するにあらざれば、鉦や木魚に佛聲を見出すことは出来ぬ、佛弟子としての宿善のアンテナが與へられてゐるのである、然らば無宿善のものは如何にして救はれるか、それは宿善を善智識によつて植えてもらうの外はない、いかにして植えてもらうか佛種を蒔いてもらうのである、佛種を蒔くの義如何それは法縁を弘通することである法縁を弘通することが佛の慈悲を傳へる所以に外ならぬ。佛種は多劫を経て

果汁の汚點は直ぐなら砂糖をもみ込んで少ししめらせ、しばらくおいて水洗すると樂にとれます。

教とは學問かはなくして體驗だからである、學問を先として、凡夫と佛とが對立して、溝渠を挟んでゐる間はいつまで経つても彼岸には到り得ぬ、理智をはなれ分別をはなれ人間的な計らひをはなれ、佛と凡夫とがこの肉身を宿として一つと

二明日の献立
【朝】納豆汁—あられ豆腐ねぎ
【晝】かき揚げ—海老 魚内みつ葉 うど薬味 おろし大根 合せ醬油
【晚】晚流し鶏卵—玉子もみのり

漸く開發することあり、即身、即時にして開發することあり、漸頓二教の別ある所以である。

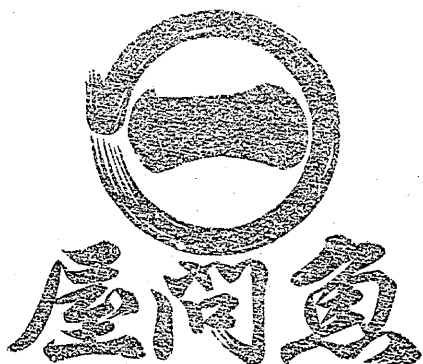
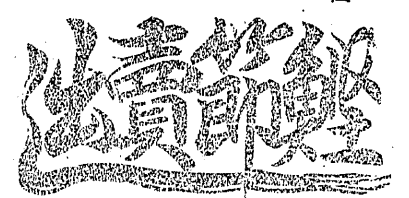
市原醫院

平町田町
電話一四四番

始年

御贈答品

産名城磐



店理代平命生本日大最優最
榮盛賀志
番三一電目丁四平

◇又々ウチワ豫約期が来ました◇

本年のウチワ。扇子は諸掛のから外來品より、注文に追加に萬事便利にて、製品及價格に自信のある山久へ！是非一度御用命を……

山久團扇店
前局町屋紺平
番九〇四(呼)話電
庫在富豊器子硝場子菓
一タヌホ。一ダンレカ

◇平乙女の腕で出来上る町産品◇

三河産業博覽會 金牌受賞
昭和産業博覽會

かまぼこ製造
お惣菜用 さつま揚げ
吉原揚 一本孫寅
電話一四一番

御料理 八千代
平町田町 電話三七五番

共濟病院案内

院長 醫學博士 石山謙郎
自宅(電話一二四番)

- 内兒科 醫學博士 石山謙郎
 - 小兒科 醫學博士 佐久間
 - 外科耳鼻咽喉科 醫學博士 桂馬重
 - 喉科皮膚科 醫學士 有馬勇二
 - 産婦人科 醫學士 五十嵐雄
 - X光線科 醫學博士 佐久間
 - 衛生試驗所 技師 石山謙郎
 - 藥局 技師 高後利平
- ◎診療時刻午前八時より午後五時迄
但急患は此の限りに非ず
- 平町 磐城共濟會
電話六四一番

外科

門專 X
科線光

上田外科病院
平町南町
電話一二九番

吉田眼科病院
平町屋町、電話六八番

不景氣を去る年

▽縁起を擔ぐ豆まき會

▽大意氣込みで下準備

平町福和内會主催の節分豆まき會は年毎に盛んになつてゆくが本年も来月三日(舊正月九日)の午後一時から縣社子鐵倉神社々頭で催される、本年は「昨年の不景氣(鬼)を去り(申)景氣をとり(酉)返す」と云ふ意氣込みで一層盛んに備したいとの膽煎り役の柳下町議や其他の世話役が大活動中であるが、歳男(廿五才 卅七才 四拾二才 四拾九才 六拾一才)の人々は此際奮つて申込まれたい

凱旋軍人も

けふ大満足

第二校の歡迎會

既報平第二小學校凱旋軍勇士歡迎會は本日午前十時半より青沼町長、山崎在郷軍人石城聯合會長、藤田同平分會長、井上大嶺保護者正副兩會長其他の諸氏臨席の許に講堂に於て催されたが出席凱旋兵は十七名にて

内郷の人口

郡内で第一位

平警察署では管内平町外三町拾八ヶ村の昨年末現在人口及び戸數を調査したが夫れに依ると管内總人口は拾四萬二千四百七拾八人、戸數二萬七千九百九拾七戸、

拾五人以下管内代表町村の人口は左記の如くである
町村名 男 女
平町 二五二 二六八

山崎清三氏が

二等郵便局長就任

局舎が土橋に移轉する

平町紺屋町郵便局長加納五郎氏は過般辭表を提出した爲め仙臺通信局にては後任者を物色中の處山崎清三氏を適任者と認め同氏に對し極力就任方を徳憑せる結果

平商の教練

吉富少將推獎

平商業學校に於ける軍事教練査閱は昨日午前九時より校庭に於て第二師團司令部付吉富少將臨席の下に若松二拾九聯隊若生中佐に依つて執行諸種教練の後左の試問を行つたが成績頗る良く若生中佐及び吉富少將から推獎された

- 一 現下非常時とは如何
- 二 隣邦諸國の日本に對する状態の概要如何
- 三 歐米諸國の現状如何
- 四 日本人の自覺の對象

湯本 七五七 七五七
小名濱 五五五 五五五
内郷 三三五 三三八
好間 六二九 六二九

田中教諭指導

磐城高等女學校教諭田中金三郎氏は來る二月一日午後一時より好間村小學校に開かれる石城郡第三區第一方面の唱歌研究會に指導講話の爲め出席すると

學生數

平警察署管内四町拾八ヶ村の各種學校數及び學生數を見るに學校數は五拾五校、男生一萬五千四百八十八人、女生一萬五千五百廿七人、合計三萬九百三拾五名である

凱旋兵の

實戰談を

平町立各學校職員より成る月次修養會にては來る三十日午後三時より平第二小學校に於て在町凱旋兵を招待し凱旋兵の實戰座談會を開くと

湯本唧筒

置場竣工

既報石城郡湯本町消防組では昨年十月より間口三間奥行五間コンクリート二階建の自動車ポンプ置場を建設中であつたが此程竣工近く披露式を行ふと

中の作起工式

石城郡江名町字中の作漁港修築工事起工式は來る卅日執行される爲め知事代理の赤土内務部長は廿九日午後來郡湯本松泊館に一泊する

御禮

謝出火御見舞

併テ消防各位ニ深謝仕候

平郵便局

節分豆まき會

一日時 二月三日(舊正月九日)午後一時
一場所 縣社子鐵倉神社
一歳男 各町の世話人又は事務所(平町紺屋町柳下方)迄に申込まれたし

會費廿錢 (福豆及び神札呈上)

主催 福和內會



旭硝子株式會社製品

板ガラス

製造 硝子 食器 其他 各種

松崎硝子製作所

平町新川町(電話一四二番) 仙臺市榮町(電話五九七番)

江戸前料理

御祝儀 御法事の御料理

多少に拘らず御用命下さい

出前! 迅速!

錦水

電話四五四番

鐵道電話不通

電話線十數間に亘り 何者か切斷して窃取

平町松ヶ岡公園下鐵道線路傍を通じて居る鐵道電話線を拾數間に亘り去る廿六日午後拾一時頃何者か切斷窃取せる爲め鐵道電話は一時不通となつたが平驛より多數の工夫が駆付一時間に復舊工事を終つた届出により平驛では目下犯人を捜査中である

法相の決裁を経て

築港所長に拘引状

既報石城郡小名濱築港疑獄事件の中心人物内務省技師高等官三等樺木篤夫氏は釋放中の處昨廿七日小山法相の決裁を経て起訴命令が發せられた爲め本日午前拾一時四拾五分平區裁判所荒川

實父の病氣中に

山林を賣飛ばす

替え玉收容さる

石城郡飯野村大字上荒川字草木百八番地志賀傳内(二)に對する私文書偽造行使公正證書 原本不實記載行使詐欺事件及び平町七丁目十五番地志賀欽作(四)に對する詐欺封鎖債領事件は過般察平檢事局に於て小林檢事取調中の處昨日志賀欽作は平刑務所に收容される

を實父豊次郎の替玉とし同町十五丁目長崎太郎の周旋にて玉川村大字林城字八反田小泉宗雄に六百圓に賣渡したが欽作は宗雄より受け取つた金四百五十圓の内謝禮金として二十圓收受し更に殘金百五十圓を傳内に渡さず消費したも盛會を見た

ガングンの火で

幼女が焼死

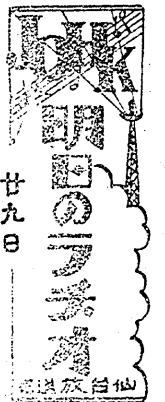
石城郡湯本町字寶海居住スミニ二女三宅ミヤコ(三)は廿七日午後一時頃自宅前で石炭燃しのガングンで暖を取つて居た際風の爲めに火が衣類に燃え移り全身に大火傷を負ひ炭礦病院で應急手當を受けたが午後七時遂に絶命した

舊正月早々に

平窪の火事騒ぎ

子供の焚火から

石城郡平窪村字下平窪鈴木守久の葉置物より昨廿七日午前十一時頃焚火正に大事に至らんとしたたが舊正月で



明日の部 今夜も明日も北東の風晴れたり曇りたり

今晚の部 後六〇〇 子供の時間 お話「日本の兵隊さん」は 何故強いか 陸軍歩兵少佐 佐谷萩那幸雄 後七三〇 記念講演 海軍大佐 鮫島貝重 前上海統帥 である

磐崎校同窓會

石城郡磐崎村第一小學校では去る廿六日講堂にて同窓會を開き江尻校長の講演があり盛會を見た

年始廻りの歸途

平驛で老爺絶命

石城郡植田町西町居住赤津祐治(八)は昨廿七日平町に往む時夫婦へ年始廻りの歸途平驛二時拾五分發列車に乗る爲めブリツチを渡りホームに降りた際脚を踏断し倒れ其儘絶命したので平驛員が檢視したが老衰の爲め心臓摩痺と判明した

組頭排斥

磐崎消防組で

石城郡磐崎村消防組にては組頭若松惣太郎氏の排斥運動起り村有志が仲裁に入つたが譲らぬので仲裁者一同は本日平驛に小田部署長を訪ひ仲裁方に就いての陳情をなした

鈴木大尉講演

既報石城郡江名町在郷軍人分會では去る廿六日午前九時より江樂館に於いて若松廿九聯隊鈴木忠大尉の滿洲事變に關する講演會を開いた

肥料

購買協議

産業組合石城部會では来る十六日午前十時より團體事務所樓上に於いて肥料購入に就いての評議員會を開催し左記事項を協議すると

平裁判たより

石城郡内郷村大字宮字作六十八番地古物商鈴木喜作(四)は入れ品を所定の帳簿に記載せず古物商取締法違反として罰金八圓

- 後〇五〇 ジャズ(獨唱付) 日本ボリドルジャズバンド 獨唱ノ一青木晴子 同ノ二南一郎 指揮細田定雄
- 後六〇〇 子供の時間 兒童劇「師團凱旋」仙臺市連坊小路小學校兒童
- 後六三〇 講演 陸軍歩兵少佐 佐下永憲次
- 後七三〇 長唄浪「枕月浅妻」吉住小三 歳外
- 後八〇〇 浪花節「村上喜劍」京山小園嬢
- 後八五〇 義太夫「源平布引瀧」文樂座より中繼して罰金二十圓
- 同郡湯本町字向田三十八番地古物商高崎勝衛(四)は東京方面より中古自轉車十臺を買入しながら所定の帳簿に記載せず古物商取締法違反として罰金五圓に本日各々平區裁判所に於て略式命令を以て處分された
- 平驛署の所屬告
- 人を求める方
 - △女中 二十才 尋卒 給料面談(平町某)
 - △車挽き 二十才 尋卒 月十五圓(平町某)
 - △出前持 二十才以下 尋卒 給料面談(平町某)
 - △魚屋雜夫 二十五才 尋卒 八九圓(小名濱町某)
- 回職を求める方
 - △商店雜役 三十六才 高卒 給料面談(平町某)
 - △洋裁工 二十九才 尋卒 給料面談(北海道某)
 - △菓子見習 十八才 高卒 給料面談(平町某)

幕末新劇

【禁轉載上演及映畫】

悟道軒圓玉演
近藤紫雲畫

第二百五十二席 千葉周作

金は天下の廻りもの

佐吉は馬藤としめし合せて其夜は吾妻橋向ふの細川家の大部屋に歸り部屋頭三郎兵衛に用向きの終りし事を告げて寝ましたが、正直な佐吉と友藏と繁藏の妻の不心得をひどく憎み定めし親分は冥途で姉御を憎んでゐるであらう、姉さんが親分に別れた後亭主を持ってはとて悪いとは云へねえが一旦盗みをした友藏と一緒になるとは男を賣つた親分を踏み付けにした仕方、女程恐ろしいものはなからうこんな事を思つて居た友藏は佐吉に見られたとは知らず繁藏の女房おせいと夫婦になつて居る下總を立退き千住に來て今では居酒屋の主人、酒や食物を吟味して安く賣るから大層繁昌しますしかしこくめいなこの稼業をしてゐない店はおせいに任せて置いて相變らず博奕場へのみ出入をするその年は暮て翌年の正月七日、外は五ツ頃ですが表から入つて來たは馬藤

馬「オウ兄貴はゐるか用がなければ出て來ねえよ、まづ明けまして結構な春でございます、相變らずお願

申したいと云ふところだが何時までも問屋場にころがつて斯うやつて人足をしてゐるのは有難くねえ今年は相變つて頂きてえや」友「何を云ふ初春早々愚痴をならべるとは不吉な奴だ



藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

下さいましと金の方から押して來るさア見てくれ」腹掛けのかくしから出した金それをバラリと投げたが二分金で五六兩ある

藤「そいつは大違ひだそれは成る程一文なしで飲んだ事もあつたがそれだけの勘定は兄から貰つてお前さんに拂つてある、して見れば借りはねえや」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

お醬油は ヤマフル

醤油味噌
たひら 正宗
鯉節 食料品

鹽屋
山崎合名會社
福島縣平町電話營業部二階造工場
明治生命磐城代理店 山崎與三郎

梅毒 淋病 皮膚病 婦人病 胃性 腸病

門專
十二指 腸虫病

院醫科
〇七一話電

木村外科醫院
平町五丁目橋際
電話三〇九

貸切の●●●

御用命は!

獅子吼(四四九)ノ勢デ
眞先ニ……(マツサキ)
三九ニタクシーへ!!!

ホール御座敷の設備あります。皆様の御立寄を!!

平町田町(電話二二番)

毎度御ひいき
有難ふ御座ります

うなぎの御用命は

うなぎ 奴

平町田町(電話二二番)

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」

藤「まあそんな事は何うでもないか」藤「オウ姐さん何時も稼いでゐるね、兄は賭場で儲けるし、姐さんはこの稼業で儲ける今に千兩箱の喰り聲を聞いて病氣になるぜ」